

内部監査報告書

確認	確認	受付	被監査部課		内部監査チーム		
							
作成日	平成30年 8月15日		被監査課		介護老人保健施設		
監査日時	平成30年 8月 9日 14時00分～16時30分		被監査者		事務長 中 良文 管理係長 城下 一弘		
内部監査員氏名	小林 敏昭(環境モデル都市推進課) 牧島 光宏(ふるさと定住支援課) 原田 太仁(経営管理課)		相互内部監査員 所属及び氏名		なし		
指摘区分	章番号	指摘の内容					
マニュアル 7.1 賞賛事項		- 報告・協議だけではない組織独自の経営会議を毎月1時間程度実施し、収益目標設定による経営改善のアイデアを出し合い、提案につながる情報共有を図っています。また、独自の職員互助会による補助で独自の「ゆうゆうTシャツ」を作り、チーム意識を高めています。 - 電話での緊急連絡網とは別に危機管理のシステムを活用した職員への一斉メールシステムにより、伝達の効率化を図っています。 - 職員への教育・訓練は2回行われていますが、入所者・利用者がいて交替勤務職場でもあることから、80人の職員に一度に実施することは困難であるため、事務長が研修資料としてA4で1枚に要点をまとめた表紙を作成し、欠席者には参加者がその要点をもとに伝達する方法を取る工夫を行っています。					
マニュアル 7.2 改善の機会	①是正処置を要する改善の機会(不適合) → 様式9-4「改善の機会対策報告書」作成 ②被監査課に対する改善の提案 → 様式9-4作成不要						
①是正処置を要する改善の機会(不適合) ・是正処置は監査日から2か月以内に完了		なし					
②被監査課に対する改善の提案	6.1.2 環境側面	【改善提案に対する処理状況は、次回の内部監査で確認します。】 ①-1 環境マニュアル 6.1.2 の 3.1 環境影響評価において、課長は、「事務事業進行管理表」により決定環境側面等の評価を行うことになっていて、「緑化の推進」と「フロンの漏えい」に特化した評価、運用となっています。規格の2015年版の重要な変更点のひとつに、事業プロセスの統合があります。本来業務である介護について評価の必要性があると考えられます。また、6.1.1 のリスク及び機会や、6.1.3 の順守義務の観点からも評価を行い、8.2 緊急事態への準備及び対応や 9.1.2 順守評価の対応についても検討する必要があると考えられます。					

	9. 1. 2 順守評価	①-2 環境マニュアル 6. 1. 2 の 1 環境側面及び環境影響の決定において、事務事業進行管理表の環境影響評価で「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」が特定され「廃棄物 (感染性含む) 管理」が評価されています。産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の運用について、廃棄物の流れと整合するよう、一部見直しの必要があります。		
マニュアル 7. 3 ③ 気づき事項 (軽微な文書上の不備等)		【気づき事項に対する処理状況は、次回の内部監査で確認します。】 なし		
マニュアル 7. 4 ④ システム提案 (事務局への提案 具体的な解決方法を含む。)	4. 3 環境マネジメントシステムの適用範囲の決定	④-1 環境マニュアルでは、4. 3 で、部長会議において、「適用範囲」を決定することになっています。また、第 1 章で当環境マニュアル以外の環境マネジメントシステムの運用を行っている場合は、その環境マネジメントシステムによることとなっています。介護老人保健施設の診療所部分は「病院機能評価」として、適用サイトから外れていますが、診療所以外の介護老人保健施設でも介護とともに看護が行われていることから、「適用範囲」を分けることは困難で、適用範囲の整理が必要と考えます。		
	7. 4. 2 内部コミュニケーション	④-2 職員間の緊急連絡網には現在、固定電話と携帯電話が示されています。携帯メールなどの併記など、緊急時の効率的・効果的な改善が必要と考えます。		
	7. 4. 3 外部コミュニケーション	④-3 環境マニュアルでは、7. 4. 3 の 6 の表 3 の中で、該当課の課長は、関連団体「工事業者」、業務内容「サイト内施設の建設及び修繕」に対して、飯田市役所の要求事項を伝達することになっています。しかし、「サイト内施設の建設及び修繕」について、現在、工事金額などの対象についてのルールがないため、ルールの設定が必要と考えます。		
	9. 2 内部監査	④-4 今年度の内部監査はランクを A・B・C の 3 つとし、それぞれ監査時間の目安を 2 時間、1 時間 30 分、1 時間とし、被監査課の状況により調整することとしました。介護老人保健施設はランク C で目安 1 時間にもかかわらず、施設の状況から計画・予定した 2 時間をも大幅に超過しての内部監査となりましたが、内容は充実した監査でした。今回の内部監査は時間を 3 段階に分けて実施しましたが、実施者や被監査課の意見も聞いて時間の配分を行ってはどうでしょうか。		
その他の特記事項				
市民協働 環境部長 処 理 欄	賞賛事項の水平展開 要・否	指 示 	確 認 	